

短期間で驚異的に学力をアップさせ、 第1志望校に合格するためのスキルを、 確実に身につける講座です。

入試について、こんな勘違いをしていませんか？

日本全国、すべての都道府県で「公立高校」の入試の出題範囲は、「中学校3年間の教科書」です・・・。
そう聞くと多くの方は
「じゃあ、教科書の内容をしっかりと勉強しておけば、公立高校入試では100点が取れる！」
と、思うのではないのでしょうか？当然です。

しかし、右の問題を見てください。 →

学校の教科書をしっかりと勉強した人の大多数は、この問題が解けるのでしょうか？
実際の入試では、この問題を解くのにあなたに与えられる時間は5分～10分です。
実際、何年生の教科書のどの単元を復習すればこのような問題が「短時間で正確に」正解できるようになるのでしょうか？

入試問題の仕組みとは・・・

実際の公立高校の入試問題では、

- ①「基礎基本を確認するための問題」
- ②「標準的な教科書レベルの文章題・応用問題」
- ③「教科書のレベルを超えた発展問題・いろいろな単元の複合問題」

というような、3つの種類の問題が出題されます。(①②③の点数の割合は都道府県によって異なります。)

もちろん、第1問→第2問→・・・と、問題が進むにつれて、①→②→③と、レベルも上がってきます。

①と②の問題は、「学校の教科書の内容をしっかりと身につけておくこと」「ミスをしないうこと」の2つがしっかりとできていればほぼ100%正解できます。

(この時点で入試問題の6割～7割は正解となります。偏差値に換算すれば55～60のラインです。)

しかし、現実的には・・・悲しいことですが、

この「ミスをしないうこと」という項目が全くと言っていいほどできておりません。

実際の入試において、信じられないようなミスをして涙をのんでいる受験生が毎年たくさんいます。

「自己採点では390点だったのに・・・」「家に帰って落ち着いてやり直したらできた・・・」

高校入試終了後に、このような声を聞くたびに「もっとやらせておけば・・・」と、無力さを痛感してしまいます。

↓ 2019年度栃木県立高校入試「数学第6問」

6 形も大きさも同じ半径1cmの円盤がたくさんある。これらを図1のように、縦 m 枚、横 n 枚(m, n は3以上の整数)の長方形状に並べる。このとき、4つの角にある円盤の中心を結んでできる図形は長方形である。さらに、図2のように、それぞれの円盤は \times で示した点で他の円盤と接しており、ある円盤が接している円盤の枚数をその円盤に書く。例えば、図2は $m=3, n=4$ の長方形状に円盤を並べたものであり、円盤Aは2枚の円盤と接しているので、円盤Aに書かれる数は2となる。同様に、円盤Bに書かれる数は3、円盤Cに書かれる数は4となる。また、 $m=3, n=4$ の長方形状に円盤を並べたとき、すべての円盤に他の円盤と接している枚数をそれぞれ書くと、図3ようになる。

このとき、次の1, 2, 3, 4の問いに答えなさい。

- 1 $m=4, n=5$ のとき、3が書かれた円盤の枚数を求めなさい。
- 2 $m=5, n=6$ のとき、円盤に書かれた数の合計を求めなさい。
- 3 $m=x, n=y$ のとき、円盤に書かれた数の合計は440であった。このとき、 x についての方程式をつくり x の値を求めなさい。ただし、途中の計算も書くこと。
- 4 次の文の①, ②, ③に当てはまる数を求めなさい。ただし、 n, m は3以上の整数で、 $w < n$ とする。
 $m = w + 1, n = m + 1$ として、円盤を図1のように並べる。4つの角にある円盤の中心を結んでできる長方形の面積が 780 cm^2 となるとき、4が書かれた円盤の枚数は、 $a = (\text{①})$ 、 $b = (\text{②})$ のとき最も多くなり、その枚数は (③) 枚である。

入試や模試で点数が伸びない理由とは？

中間テストや期末テストでは、高得点が取れるのに、模擬テストになるとなかなか点数が伸びない・・・という声をよく聞きます。「模試の範囲は定期テストよりも広いので、短期間で高得点というのは難しいのでは・・・？」と、思われたかもしれません。

しかし、考えてみてください。

最も範囲が広いのは「入試」です。中学校3年間の全範囲ですから・・・。「範囲が広がると、点数が伸びなくなる。」というのは、単純に「昔のことを忘れている」または、「そもそも覚えていない」=インプットしていない！ということなのです。

実はそれだけではありません！

学校の定期テストと、模試や入試の問題は、出題形式が圧倒的に違うのです。

右の問題を見てください。 →

外国人の友達からもらったメールに対して、あなたの意見とその理由を30～50の単語を使って書くという問題です。

もちろん、普段から英語で手紙やメールを書いている方なら、こんな問題1～2分で即終了ですが、一体そのような受験生は何人いるのでしょうか？

入試で高得点を取るために本当に必要なこととは・・・

入試問題を解くには、基礎基本の習得はもちろん必要です。

しかし、それだけではどんなに頑張っても6割～7割までが限界なのです。

そこから先の世界に突入するには、また、ミスをしないうで確実に得点するには・・・？

実際に入試問題を解くための訓練=アウトプットの訓練が必要不可欠なのです！

部活動にたとえてみましょう・・・。

英単語や英熟語、数学の公式や理科社会の重要語句を書いて覚えるのは、基礎体力作りです。走り込みや素振りのようなものですね。頑張って教科書をまとめたり、問題集をやってまちがえた問題についてやり直したりする作業が普段の部活動の練習です。そして、実際の入試問題の過去問などを解くのが練習試合です。

練習試合を繰り返すことで、実際の試合のペースをつかんだり、実践での勘を養ったり・・・本番でつまらないミスをしないうに自分を振り返ることができます。入試で高得点を取るには、これらすべてのプロセスが必要になってきます。私たちは、これらのインプット+アウトプットのプロセスを土日にすべて詰め込みました！

↓ 2019年度 茨城県立高校入試「英語第6問」

6 あなたは、アメリカに住んでいる高校生のジョン(John)から次のようなメールをもらいました。ジョンの質問に対するあなたの意見とその理由について、メールの書き出しに続けて英語30語以上、40語以内で書きなさい。なお、記入例にならい、符号(、。？！など)は、その前の語につけて書き、語数には含まないものとします。

【あなたがジョンからもらったメール】

Hi, how are you? I want to know your *opinion about something. I'm going to start a new life in Japan next month. And I will study with you in your school. Yesterday I got an e-mail from my host father. He says the school is about five kilometers from his house. I can go to school by bus, or borrow a bike from my host family and go to school by bike. How should I go to school? What is your opinion?

* opinion 意見

記入例 Are you Ms. Brown?
No, I'm not.

Hello, John.
Thank you for your e-mail.

30

40

See you soon.

土ゼミ

～確実なインプット～

中1～中3のすべての範囲における
最重要項目の復習と応用問題演習で
入試問題の解き方をインプット！

国語：確実に100%得点できる「漢字」

配点が高い「作文」で満点を取る！

社会：覚えてれば必ず得点になる「重要語句」確認
配点が高い「記述式」「資料読み取り」問題を
確実に解答し、高得点を取る！

このような問題です。→

理科：覚えていれば必ず得点になる「重要語句」確認
やり方さえわかっていたら絶対に高得点がとれる
計算問題

- 化学変化の質量の計算問題
- 電流・電圧・抵抗・電力の計算問題
- 仕事・エネルギーの計算問題
- 震源距離・初期微動継続時間の計算問題
- 飽和水蒸気量・湿度の計算問題
- 太陽の南中高度の計算問題

数学に比べ、計算自体はかなり簡単なのですが、
「式が作れない」「やり方がわからない」ため、
得点を落としている受験生がたくさんいます。

英語：近年、問題数・単語数がかなり多くなった
「長文読解問題」を完全攻略。

なかなか自分1人では対策が難しい「リスニング問題」を毎週対策します。

数学：多くの受験生を泣かせてきた「関数問題」を基礎の復習から応用問題の解き方まで一気に攻略！
配点が高いのになかなか得点できない「証明問題」を徹底的に訓練します。

トップ高校合格のためには絶対に避けて通れない、「関数図形複合問題」「発展問題」の解き方、考え方を
わかりやすく伝授します！

↓ 2019年度 東京都立高校入試「社会第5問」

	消費支出	食料費 (%)	ア (%)	イ (%)	ウ (%)	エ (%)	その他 (%)
1970年	82582円	32.2	9.3	5.5	4.1	5.1	43.8
1975年	166032円	30.0	9.0	6.6	4.1	5.0	45.3
1980年	238126円	27.8	7.5	8.5	5.3	4.2	46.7
1985年	289480円	25.7	7.0	9.7	5.9	4.2	47.5
1990年	331595円	24.1	7.2	10.1	5.1	4.0	49.5
1995年	349631円	22.6	6.0	11.0	5.6	3.7	51.1
2000年	349777円	22.0	5.0	12.8	6.2	3.3	50.7
2005年	328649円	21.6	4.6	14.3	6.5	3.1	49.9
2010年	318211円	21.9	4.3	15.1	6.8	3.3	48.6
2015年	315428円	23.6	4.3	15.8	7.3	3.5	45.5

(修養者統計局「家計調査年報 平成27年 家計収支編」などより作成)

II 消費支出に占める割合は、1970年から2015年にかけて減少傾向にある。近年の傾向には、百貨店での購入の減少などが影響している。また、2010年から2015年にかけて、食料費の消費支出割合が増加しているのに対し、福祉及び娯楽費は約13000円台で推移している。

【問3】この財政は、家計や企業から支出される税金などで賄われている。とあるが、次のIのグラフのA～Eは、1995年度から2015年度までの税が国の法人税、消費税、関税、所得税の収入額の推移について示したものである。IIの文章で述べている税に当てはまるのは、IのグラフのA～Eのうちのどれか。

II 株式会社などが、事業活動を通じて得た所得に課せられる国税で、事業規模によって税率が決定される。景気の変動を受けやすく、世界金融危機後の2年間で約6割の下落を記録した。

【問4】この財政を処理する機関は、国会の議決に基づいて、これを行使しなければならない。と日本国憲法で定められている。とあるが、次のIのA～Eは、第183回通常国会で「平成25年度予算案」の議決までの経過について示したものである。IIの機関が関与したのは、下のA～Eのうちではどれか。

I

- A 第183回通常国会が開会される。(1月28日)
- B 衆議院・参議院に平成25年度予算案が提出される。(2月28日)
- C 衆議院で平成25年度予算案が可決される。(4月16日)
- D 参議院で平成25年度予算案が否決される。(5月15日)
- E 日本国憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となる。(5月15日)

(参議院のホームページより作成)

II この機関は、両議院各10名の代表者から構成され、両議院の意見調整が行われる。

ア AとBの間 イ CとDの間 ウ BとCの間 エ DとEの間

土曜ゼミナール (通称「土ゼミ」) 9月開講！

実施日 : 土曜日 (月3回実施・9月～2月で全18回)

日ゼミ

～アウトプットの特訓～

「わかっていること」と、
「正しく解答できる」ことは別！
制限時間内に確実に解答用紙を埋める！

右の解答用紙を見てください。→
昨年の群馬県立高校入試の理科の解答用紙です。
定期テストとは全く雰囲気が違うのがわかります。
また、細かく見てみると「グラフを描く」「図を描く」「回路図を描く」「記述で答える」というように、もはや、暗記だけではどうにもならない状況です。

「日ゼミ」では、
あなたの受験する公立高校入試の出題傾向に完全に合わせた「予想問題」によるテスト&ゼミを実施します。

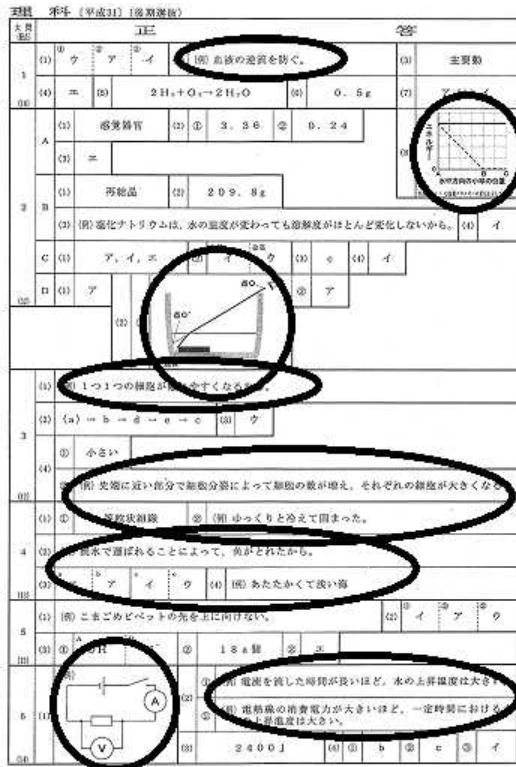
限られた時間内に、効率よく問題をこなし、
確実に配点通りの点数を取るには、多くの訓練が必要です。
開倫塾では、11月から毎月2回、
日曜日を使ってこの訓練を実施します。

東京都・栃木県・群馬県・茨城県の、
それぞれの都県の入試問題の出題傾向・形式に合わせてテスト+解説授業をおこないます。

毎回「偏差値」と「単元別弱点表示」を入れた
「個人成績表」があなたに渡されます。 →

毎回のテストゼミのたびに、あなたの「偏差値」の推移や、
「どの単元が弱いのか」が一目でわかります。
2週間後の次のテストまでにその分野をマスターする、
というサイクルを4ヶ月間続けることによって、
万全の状態でおこなう公立高校入試に臨むことができます。

↓ 2019年度 群馬県立入試 理科解答



日曜ゼミナール (通称「日ゼミ」) 11月開講！
実施日 : 日曜日 (月2回実施・11月～2月で全8回)